



RSSC同窓会 <rsscnsk@gmail.com>

{RSSC同窓会:326} RSSC同窓会メールマガジン(2011-04号)

1 件のメッセージ

立教セカンド <rsscnsk@gmail.com>

2011年12月14日8:57

返信先: rikkyossc2008@googlegroups.com

To: rikkyossc2008 <rikkyossc2008@googlegroups.com>, rikkyossc2009

<rikkyossc2009@googlegroups.com>, rssc2010-ml@rssc-dsk.jp, rssc2011-ml@rssc-dsk.jp

Cc: rssc@grp.rikkyo.ne.jp

□ ■ 立 教 セ カ ン ド ス テ ー ジ 大 学 同 窓 会 □ ■
【メールマガジン 第11 - 04号】
2011年12月14発行

<<< 目次 >>>

1. 四期生72名が入会
2. ホームカミングデー・バザーのご報告
3. 震災ボランティア支援
4. 二期生終了感謝の礼拝と懇親会
5. まだ間に合うクリスマス行事
6. 公開講演会のお知らせ

1. 四期生72名が入会

2011年12月9日現在、立教セカンドステージ大学同窓会は2011年度修了予定の本科生(四期生)72名の同窓会への入会の申込みと会費の納入をいただきました。現在の受講生76名の内、95%の方が同窓会入会されたことになります。四期生の方々が専攻科に進んでも、修了後もRSSC同窓会を通して長く絆で結ばれることを期待しています。

RSSC同窓会の活動はホームページで紹介していますので、是非見に来てください。

<http://www.rssc-dsk.jp/>

2. ホームカミングデー・バザーのご報告

10月23日(日)に開催された立教大学校友会主催の「ホームカミングデー」にバザーを出店し無事終了致しましたのでご報告致します。バザー開催に当たりましては皆さまから温かいご支援をいただき有難うございました。つきましては、バザーの収益金および収益金の寄付先につきまして下記の通りご報告致します。

記

1. 収益金

147,200円 (内訳 バザー売上金142,200円、募金5,000円)

2. 寄付先

- 宮城県気仙沼市 キッズルーム「おひさま」
- バングラデシュ 知的障がいのある子どもたちのための「ごはん基金」
(窓口:公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会)

なお、寄付金額につきましては折半を予定しています。

<http://www.rssc-dsk.jp/sub1.html#BAZZERRESULTS>

3. 震災ボランティア支援

東日本震災の被災地は寒さの季節を迎えて厳しい冬越しの支度を迫られています。

同窓会の有志により「気仙沼支援プロジェクト」が発足し、気仙沼に支援物資を送っています。気仙沼の仮設住宅と津波で流された私設託児所「おひさま」へ冬物衣料と防寒物資を送りました。
12月9日には気仙沼仮設住宅自治会長の菊田様より御礼と感謝の手紙が届きました。
<http://www.rssc-dsk.jp/sub21.html#KESENNUMA3>

同窓会では冬物衣類の提供、ミニマフラーの製作などを通して、東日本大震災の被災地、被災された方々への支援をしています。ホームページに震災ボランティア支援ページを立上げて、被災地の支援を行っている同窓生の活動を紹介しています。
<http://www.rssc-dsk.jp/sub21.html>

活動に共感された方は是非とも震災ボランティアの応援をよろしくお願いいたします。

4. 二期生終了感謝の礼拝と懇親会

2010年度の「修了式」は、2011年3月23日(水)11:00より修了式、写真撮影、修了証書授与式、修了パーティーが行われる予定でした。3月11日の突然の大震災によりすべての行事がキャンセルとなりました。
それに代わって、10月8日、「修了感謝礼拝と懇親会」を開催し、修了した二期生が久々に集まって再開を喜びあいました。

<http://www.rssc-dsk.jp/sub4.html#SHUURYOU>

5. まだ間に合うクリスマス行事

立教キャンパス正面のヒマラヤ杉にはクリスマスイルミネーションが飾り付けられ、11/28に点灯式が行われて暖かい灯がキャンパスを染めています。
クリスマスは立教にとって大切な季節です。まだ、間に合うクリスマス行事を紹介します。

12/12、14 クリスマスバザー 昼休み 第一食堂前
12/20 キャロリング 17:00 チャペル
12/24 イブ礼拝 15:30 チャペル
12/24 聖餐式 23:45 チャペル
12/25 聖餐式 07:00 チャペル
12/25 唱詠聖餐式 10:00 チャペル

6. 公開講演会のお知らせ

開催日: 2011年12月18日(日)14:00~16:30
会場: 立教大学 池袋キャンパス 4号館4階4402教室

シリーズ 3.11以後の日本と社会デザイン
「希望学を語る—社会科学の新たな地平へ—」

「希望は、画一的な理解を拒絶する「怪物」である。個人の次元で語るのと、社会の次元で語るのでは、希望の意味はおのずと異なる。その違いを理解することなく、政治が安易に希望を語るのには危険性すら孕んでいる。希望に対する理解の共有が、今こそ求められている。」(『希望学1』刊行にあたって)「希望」は生きる所為にどれだけかわっているのだろうか。そもそも「希望」とはどのような意味をもつのだろうか。この問いに真っ向から、まっとうに向き合ってきた玄田有史氏を迎え、「希望」について議論する場とする。
3.11に起こった現実を受け、人々が生きる原点とは一体どのようなことであるのか、いまだ認識する方法を持たず、試行錯誤する私たちが思考するための道を探るキーワードとして「希望(学)」に注目してみたい。

主催: 立教大学21世紀社会デザイン研究科
立教大学社会デザイン研究所
共催: 21世紀社会デザイン研究学会

講師: 玄田有史氏(東京大学社会科学研究所教授)
長有紀枝(立教大学教授、当学会理事)

中村陽一(立教大学教授、当学会副会長)
コーディネーター:石川治江(立教大学大学院教授、当学会副会長)
受講無料、申込不要

<http://www.rikkyo.ac.jp/events/2011/12/9997/>

立教セカンドステージ大学同窓会広報委員会

ホームページ <http://www.rssc-dsk.jp/>

メールアドレス kouhou_ml@rssc-dsk.jp

<<全員にメールが配信されますので、このメールには絶対返信なさないよう、お願いいたします>>
